視覚障害者スキーの現状

ープロボノと連携した広報ビデオの作成を通してー

矢部健三（神奈川県総合リハビリテーションセンター七沢自立支援ホーム）
市川健太・太田充咲・清宮幸子（かながわブラインドスキークラブ）
桐木淳二・櫻井ゆう・伏見和真（I&S BBDO）
中山雄介（スイフト）
河村暁子・屋敷篤子（東京ボランティア・市民活動センター）

ブラインドスキーとは

- ブラインド（視覚障害者）とパートナー（晴眼者）が一緒に楽しむスキー
  - 見えない、見えにくいことでブラインドは、ゲレンデの状態がよく判らない
  - パートナーがブラインドの後方または前方を滑り、進む方向や曲がるタイミングを声で伝達
- ブラインドとパートナーの協力で一味違うスキーの楽しさを味わう

ただ、そこには大きな障害が…

スキーを続けたい!スキーにチャレンジしたい!
というブラインドは大勢いる
しかし

パートナーを務めてくださる健常者が少ない！
↓

毎年数名のブラインドの申し込みをお断り

そんな課題を克服するために

- 課題
  - パートナーの不足
- 取り組み
  - ブラインドスキー紹介ビデオを作成しよう!

D&I協働プログラム

- プロボノ
  - I&S BBDO様とスイフト様

- 資金提供
  - TVAC様からD&I協働プログラム助成金
  - ファンケル様から「もっとできるはず基金」寄付金
  - リコー社会貢献クラブ・FreeWill様から寄付金

ブラインドスキー
紹介ビデオ作製プロジェクト

- 活動
  - 10～12月に月1回打ち合わせを開催
  - 1月3～5日野沢温泉スキー場でビデオ撮影
  - 2月仮編集試写会を開催
- 成果
  - 45秒、105秒、4分30秒の動画3本を作成
  - クラブHPやSNS、動画共有サイトで公開

声でつながる絆のスキー ブラインドスキー